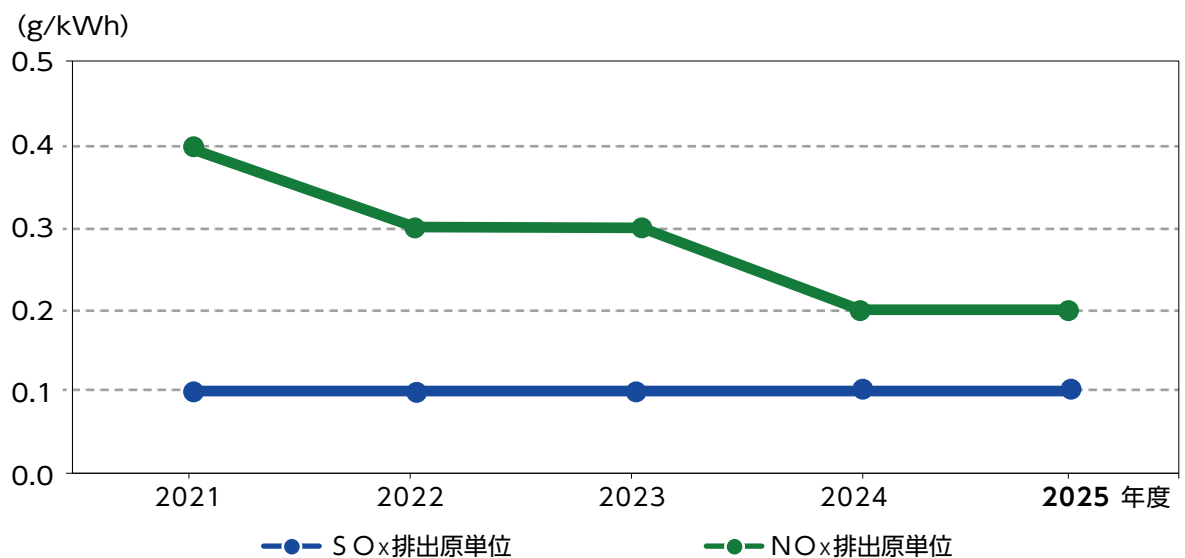


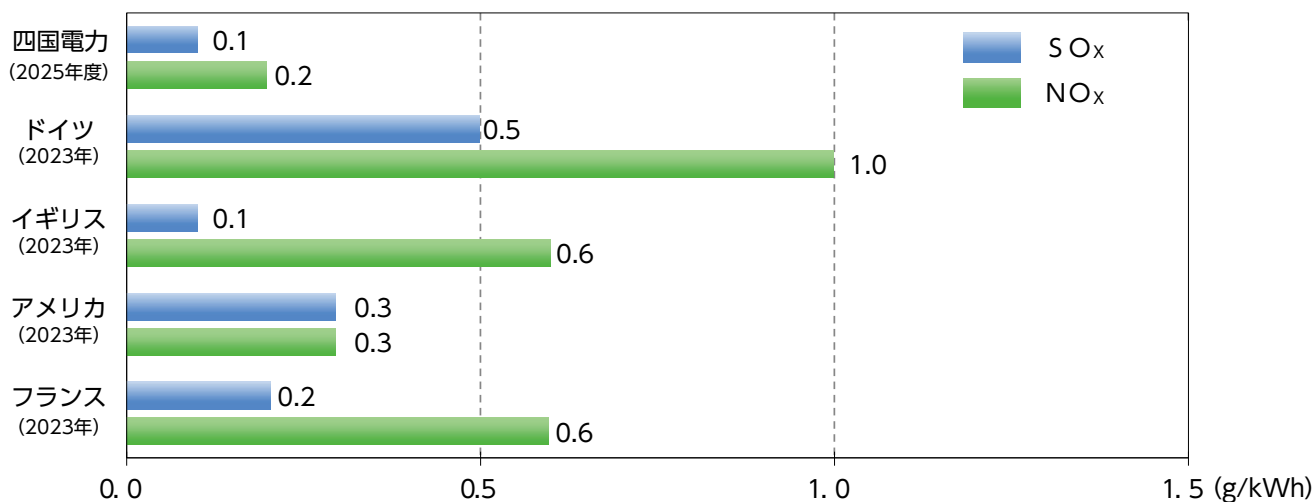
火力発電所のSO_x・NO_x排出原単位



(単位：g/kWh)

	2021	2022	2023	2024	2025
SO _x 排出原単位	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
NO _x 排出原単位	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2

(参考) 主要先進国のSO_x・NO_x排出原単位



火力発電所の燃料である石炭や石油などには硫黄分や窒素分が含まれており、燃焼時に硫黄酸化物 (SO_x) や窒素酸化物 (NO_x) が発生します。

四国電力では、様々な対策を講じることで、発生したSO_xやNO_xの大気中への排出を抑制しています。

2025年度における四国電力の火力発電所のSO_x排出原単位は0.1g/kWh、NO_x排出原単位は0.2g/kWhであり、主要先進国に比べると低い水準を維持しています。

火力発電所のSO_x・NO_x対策

SO _x 対策	硫黄分が少ない燃料の使用（低硫黄燃料の使用）
	発生したSO _x を排ガス中から除去（排煙脱硫装置の設置） [設置場所：阿南発電所3号機、橘湾発電所、西条発電所1・2号機、坂出発電所3号機]
NO _x 対策	燃焼ガスの温度を下げてNO _x の発生を抑制 （火炉の大型化、二段燃焼方法の採用、低NO _x バーナおよび排ガス混合燃焼の採用）
	発生したNO _x を排ガス中から分解除去（排煙脱硝装置の設置） [設置場所：橘湾発電所、西条発電所1・2号機、坂出発電所1・2号機]



排煙脱硝装置(西条発電所1号機)



排煙脱硫装置(西条発電所1号機)

火力発電所の燃料である石炭や石油などには硫黄分や窒素分が含まれており、燃焼時に硫黄酸化物（SO_x）や窒素酸化物（NO_x）が発生します。このため、上記のような対策を講じ、SO_xやNO_xの大気中への排出抑制に努めています。

西条発電所における環境モニタリング状況

(2025 年度)

火力発電所の環境モニタリングの一例として、西条発電所の環境モニタリング状況を以下に示します。

■ 大気環境・騒音・水質

調査項目					結 果	
協定値等						
大気質	SO _x 排出量		199m ³ N/h以下		31	
	NO _x 排出量		162m ³ N/h以下		108	
	ばいじん濃度		48kg/h以下		3.7	
	水銀濃度	1号	8ug/m ³ N		0.70	
		2号	10ug/m ³ N		1.9	
騒音	敷地境界		朝・夕	午前6時から午前8時まで 午後7時から午後10時まで	70dB以下	66
			昼間	午前8時から午後7時まで	70dB以下	66
			夜間	午後10時から午前6時まで	60dB以下	60
水質	一般排水	pH（水素イオン濃度）		5.5以上、8.5以下		6.8～7.5
		COD（化学的酸素要求量）		15mg/L以下		3.4
		窒素含有量		30mg/L以下		6.4
		燐含有量		4mg/L以下		0.16
		浮遊物質		25mg/L以下		1
		ノルマルヘキサン抽出物質		1mg/L以下		<0.5
	温排水	残留塩素濃度		検出されないこと		定量下限値未満
		取放水温度差	1号	平均7.0℃以下		6.3
			2号	平均9.2℃以下		6.7

■ 産業廃棄物（四国電力およびグループ会社が排出事業者となるもの）

(単位：t)

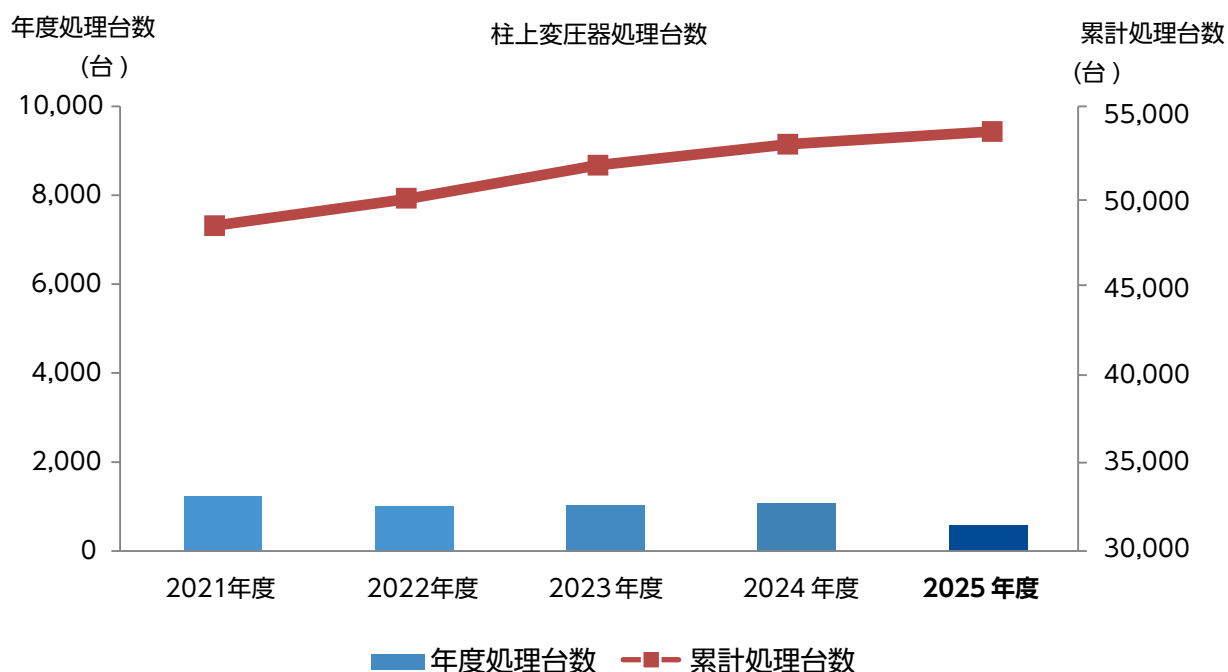
廃棄物の種類	発生量	有効利用量	処分量	備考（主な有効利用・処分方法）
石炭灰	99,491	96,822	2,669	・セメント原料等として有効利用
石こう	21,324	21,324	0	・石こうボード原料等として有効利用
金属くず	9	0	9	
汚泥	1,860	0	1,860	・埋立処分
廃プラスチック類	62	2	60	・熱回収による有効利用 ・埋立処分
がれき類	272	270	2	・再生路盤材等として有効利用 ・埋立処分
その他	111	47	64	—
合計	123,129	118,465	4,664	—

※ 数値を小数点第一位で四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。

PCB廃棄物の処理状況

(2025 年度末現在)

種 類	機器など	処理量(累計)
高濃度 P C B 機器等	変圧器	99台
	コンデンサ	997台
	絶縁油	0.319kl
	蛍光灯安定器等	10,179台
	紙・布類（感圧複写紙等）	1,837kg
微量 P C B 混入機器等	絶縁油	2,541kl
	柱上変圧器	53,295台
	バランサ	9,753台



PCB廃棄物には、PCBを絶縁油として使用した高濃度PCB機器等と、絶縁油に微量のPCBが混入した微量PCB混入機器等があり、計画的に順次、無害化処理を実施してきております。